

農林水産大臣賞

ひとつきこうみんかい
一ツ木公民会（鹿児島県さつま町）

多様な世代が連携し、地域資源や伝統行事を守り続ける意思の共有と自主的で持続的なむらづくり活動の展開

1. 地区の概要

さつま町の北西部には紫尾山がそびえ、南九州一の河川「川内川」が貫流し、基幹産業となる農業では水稻と肉用牛の複合経営を主体としながら南高梅、なし、ぶどう、茶など多彩な農産物が生産されている。特に孟宗竹林は全国有数の面積を誇り、日本一の早堀たけのこの産地となっている。

2. 団体の概要

本会は一ツ木集落内の全75世帯・143人で構成され、集落内の行事やイベントは役員会の下4部会で活動。農地・水路の保全管理等に取り組む「一ツ木集落協定」、作業受託や農産物の生産販売に取り組む「農事組合法人ひとつき」と一体となって活動。

3. 団体の取組み

○一ツ木公民会の話し合いにより設立され法人化に至った「農事組合法人ひとつき」が地域農業の受け皿となり、農地集積8割を達成。また、高齢者等の活躍の場づくりや雇用創出を図り、湛水さといもの特産品化や食育活動等にも取り組み、住民の創意工夫によるむらづくり活動を実践。

○住民が共同で管理・運営する無人直売所や保全活動、集落ぐるみの子育てなど、生活そのものを共同で営み、相互に助け合うことで安心して住みつけられる仕組みを構築。

○農業体験の受け入れ、伝統行事や収穫感謝祭等の交流イベントでは集落人口の2倍の交流人口を確保。また、子供達への伝統行事の継承活動や高齢者が集う憩いの場の創出等、地域で子供や高齢者を見守る仕組みを構築して共生・協働のむらづくりを展開。



高齢者のさつまいも収穫作業



秋の収穫感謝祭 豊作を祝う踊り



集落ぐるみでさつまいも収穫